



### 3 講座設定の理由（学習の目的）

どのような状態になってほしいのかを具体的に文章化する。

（例文）×××（活動内容）を通して、▲▲（対象者）が●●●（意図）になる。

※「●●●になる」の部分は、理念的なものでもよい。

- ・豊かな心を育てる
- ・道徳心を養う
- ・仲間意識を育てる
- ・人材を育成する
- ・ネットワークを形成する
- ・地域の活性化を図る

### 4 学習目標

学習の目的のような状態に変えるため、地域住民にどんな知識・意識・態度を身に付けてもらう必要があるか。

（例文）×××（活動内容）を通して、▲▲（対象者）が●●●（知識、技能、意識、価値感）になる

- ①学習活動の指針となる目標が設定されているか。
- ②学習者に求める態度変容が目標として示されているか。
- ③具体的でわかりやすい言葉で示されているか。

### 5 事前に必要な知識や準備物

講師や各団体との連携・調整、医療機関の情報収集、しおりやアンケートの作成、必要物品の手配、各所への届出等学習プログラムに向け、準備しておきたいことについて記入する。

### 6 留意点

講師や他団体と連携、安全面の配慮（対象者ならではの配慮）等、運営上で気を付けておくことについて記入する。

### 7 成果

学習の目的や学習目標がどのように達成できたか。また、想定外の波及効果等について記入する。

例：参加者から「××」等意見があり、▲▲ができた。

■■の活動を通して、●●することができた。

### 8 課題

講座・事業の実施を受けて、今後への課題について記入する。

例：××するために、▲▲する必要がある。

●●するために、◆◆を検討する。

### 9 今後に向けて

課題等を受けて講座や事業を発展させていくため、今後の見通しを記入する。

例：××を実施し、▲▲の促進を図る。

講座で学んだ◆◆を生かせる場を設定する。

※当センターHPに記入例を掲載しています。参考にしてください。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/torikumijireisyu1.html>